

(科目名) 日本史A・日本史B			(群)	人文・社会科学系科目群
			(系)	歴史・文明系
			(開講期)	通年
(所属部局)	(職名)	(氏名)	(授業形態)	講義
人間環境学研究科	教授	西山良平	(対象回生)	全回生
			(対象学生)	全学生
(授業の概要・目的)				
<p>本授業日本史A(前期)・日本史B(後期)は平安京・京都の歴史的発展を日本の都市史の上に位置づけ、現在の京都における都市問題・都市環境の解決に示唆をうることを目的とする。とくに、居住や住宅の変化から都市問題を考察する。</p> <p>授業を弥生時代から開始するのは、学問的な都市論が弥生時代の池上・曾根遺跡から論じられるためであり、近世京都で授業を終えるのは、現在の京都の大枠が近世社会に決定されるからである。授業では弥生時代から近世社会の中で、西暦1000年前後に画期があることを強調する。文献史料のほか、できるだけビジュアル化するために、発掘調査のデータや絵画史料を活用する。発掘調査のデータは日々変化するため、随時更新する。</p>				
(授業計画と内容)				
<p>&lt;日本史A 古代都市の展開と平安京&gt;</p> <p>都市の概念→弥生時代の大规模環濠集落→古墳時代の都市的遺跡 →飛鳥の都市的性格→藤原京の成立→平城京の構造→長岡京遷都→平安京遷都</p> <p>&lt;日本史B 日本都市史の発展と平安京・京都&gt;</p> <p>平安京遷都→初期平安京の構造→平安京の変貌 →院政期の開発と再開発→(付録 平泉・中世鎌倉の性格) →鎌倉・室町時代の開発と町・商工業→近世京都の成立</p>				
(成績評価の方法・基準)				
2度の学期末の定期試験の成績により評価する。				
(履修要件)				
とくになし。				
(教科書)				
使用しない。				
(参考書)				